

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地							
オホーツク社会福祉専門学校	平成10年3月24日	棧 邦雄	〒090-0871 北海道北見市常盤町3丁目14 (電話) 0157-24-1560							
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地							
学校法人栗原学園	昭和44年3月31日	柏尾典秀	〒090-0871 北海道北見市常盤町3丁目14 (電話) 0157-24-1560							
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士						
教育・社会福祉	教育社会福祉専門課程	介護福祉科	平成6年文部科学省告示第596号	—						
学科の目的	本学園には介護の他、「幼児教育」「園科衛生」「情報処理」などの科がある。高齢者や障がいをもつ方々の口腔ケアの手技やパソコン操作の指導には、専門とする学科の教員から直接指導が受けられることで実践的能力を高めることができる。また、1年次から就職対策や国家試験対策にも力を入れ、就職率・国家試験合格率ともに100%を目指す。地域の福祉を支え、何事においても率先して考え、行動し、即戦力として活躍できる介護福祉士育成を目指す。									
認定年月日	平成26年3月31日									
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技			
	2年 昼間	2167時間	771時間	910時間	450時間	時間	36時間 単位時間			
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数					
80人	33人	0人	7人	17人	24人					
学期制度	■前期 4月1日～9月30日 ■後期 10月1日～3月31日	成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験(筆記、口述、論文、実技)及び、出席日数						
長期休み	■学年始:4月1日～ ■夏季:7月21日～8月17日 ■冬季:12月19日～1月17日 ■学年末:3月16日～4月8日	卒業・進級条件		卒業試験及び進級試験						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 定期的な個人面接、家庭への文書連絡及び家庭訪問等	課外活動		■課外活動の種類 施設等から依頼のあるボランティア ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/介護福祉士 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報) <table border="1"> <tr> <td>介護福祉士</td> <td>②</td> <td>21人</td> <td>21人</td> </tr> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するを記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			介護福祉士	②	21人	21人
介護福祉士	②	21人	21人							
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(平成30年度卒業生) 介護施設 病院 障がい者施設等 履歴書作成個別指導 個人面接練習 集団面接練習 ジョブカフェ講師による面接セミナー受講 小論文指導 ■卒業者数 21 人 ■就職希望者数 20 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 95.2 % ■その他 ・進学者数: 1 人 (令和 元 年度卒業生に関する令和2年5月1日 時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3							
中途退学の現状	■中途退学者 1名 ■中退率 2.77 % 平成31年4月1日時点において、在学者36名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者35名(令和2年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 個人面接 保護者面談 家庭訪問の実施等									
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 「栗原太郎・栗原寛隆・藤田礼三基金」卒業後5年間で授業料、施設費、実習費を返還 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 前年度の利用は無し									
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)									
当該学科のホームページURL	http://kurihara.ac.jp									

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針
 「地育地活」地元で育ち地元で活躍する人材の育成を掲げ、深い愛情をこめて人と接し仕事に臨むための知識や技術を身に付け、強い精神力を備え、自ら進んで誠心誠意汗をかきながら行動できる人材をめざし、そのためには企業との連携を密に、学校と企業との役割分担を明確にし、実習、講演などで新たに必要となる知識技術技能等を十分に把握、分析し、今後の授業科目の開設や授業方法の改善・工夫を行う

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会の討議事項を受け、各学科にて検討したものを学園学科長会議にて討議し、最終的に学園経営会議にて討議し、より実践的な教育課程の編成を行う。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
棧 邦雄	学校法人栗原学園園長 理事 オホーツク社会福祉専門学校 校長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日（任期2年）	
畠山 友子	オホーツク社会福祉専門学校 介護福祉科 学科長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日（任期2年）	
田 中 由 佳	オホーツク社会福祉専門学校 こども未来学科 学科長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日（任期2年）	
田村 智美	オホーツク社会福祉専門学校 歯科衛生士科 学科長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日（任期2年）	
松浦信一	医療法人社団松浦歯科医院院長 北見摂食嚥下ケア研究会 会長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日（任期2年）	①
中野武房	学校カウンセリング研究会 会長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日（任期2年）	②
高 橋 正 明	社会福祉法人恵和福祉会 介護老人保健施設 緑風 事務長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日（任期2年）	③
岡 田 直 美	学校法人北見明和学園 認定こども園 北見くるみ幼稚園 園長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日（任期2年）	①

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれかに該当するか記載すること。

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

（開催日時）年2回

第1回 令和2年 9月25日 18:00～20:00

第2回 令和3年 2月

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

幼稚園・保育園等実習において、同じ学年でも発達段階差が大きく見受けられるため、一人ひとりへの対応とそれを基にした集団生活力を保育教育で養う質が求められている。また、働く親が増えたことであつて家庭教育であつた範囲も日常の中で学ばせる機会が多く、学んでいる学生自身もそのことを十分に理解する必要があると思うと意見あり。それを踏まえて、社会人常識マナーの学習や保護者との相談業務等強化。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

保育施設次週はその習得した教科全体の知識、技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用能力を養う為、児童に対する理解を通じて保育の理論と実践の関係について習熟させることを目的とする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

指導案の作成では実習受入施設側担当者、教員、学生が十分なコミュニケーションや相談を通じて充実したものになるよう作成。また、造形授業で制作した椅子等子ども達の教育に役立つものについての寄贈等を行うことで、日頃より多くの交流から学習を深めている。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
介護実習Ⅰ	慣れ親しんだ地域で暮らす高齢者や障がいのある人の事実を知り、そのうえで、そこでの生活を少しでも長く継続していくために利用している、多様な施設や事業所等の機能や役割について知り、個々の生活リズムや個性を理解する観点から、さまざまな生活の場において個別ケアを理解する。また、通所系サービスなどの各在宅サービス、またグループホームや施設を利用する利用者やその家族と人間関係を形成しながら、コミュニケーションの実践、介護技術の確認、多職種協働や関係機関との連携を通じて、チームの一員としての介護福祉士の役割について理解する。	医療法人社団久仁会介護老人保健施設 いきいき 社会福祉法人北見北尽会 介護老人保健施設 緑風 株式会社ツクイ 社会福祉法人北海道仕愛会 老人デイサービス憩いの苑 医療法人オホーツク 勤労者医療協会勤医協デイサービスくわの木 勤医協デイサービスセンター 社会福祉法人北見慈恵会グループホームゆうゆうぼたん園 社会福祉法人北見睦会グループホームかかやきの里むつみ 有限会社 エーデルワイス 株式会社ふれやか他55施設
介護実習Ⅱ	個別ケアを行うために、個々の生活リズムや個性を理解し、利用者の課題を明確にするためのアセスメント、介護計画の作成、実施、評価、修正といった介護過程を展開し、他科目で学習した知識や技術を統合して、具体的な介護サービス提供の基本となる実践力を習得する。	社会福祉法人治恵会特別養護老人ホームくつろぎ 社会福祉法人北海道仕愛会特別養護老人ホーム光の苑 社会福祉法人めぐみ会特別養護老人ホーム北寿園 社会福祉法人きたの愛光会特別養護老人ホームこもれびの里 社会福祉法人女満別福祉会特別養護老人ホーム女満別ドリーム苑 社会福祉法人北見慈恵会複合福祉施設ゆうゆう 医療法人社団 輝生会介護老人保健施設さくら 他27施設

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係			
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 教員に必要な専攻分野における実務に関する知識、技術、技能を修得・向上するための研修を企業等との連携のもと、定期的 に組織的な研修の機会を設ける。また、介護分野教授教員は社会福祉士及び介護福祉士施行令第4条2項規定により、介護教 員講習会受講、医療的ケア教授教員は医療的ケア教員講習会の修了が義務付けされており、研修に当たっては、職務の一環と して参加している。			
(2) 研修等の実績			
① 専攻分野における実務に関する研修等			
新型コロナにより、研修見送り			
② 指導力の修得・向上のための研修等			
新型コロナにより、外部研修は見送り。内部でオンライン授業の実施方法について8月21日実施。			
(3) 研修等の計画			
① 専攻分野における実務に関する研修等			
福祉用具について 電動車いす、介護ロボット実用研修(株式会社マルベリー)			
② 指導力の修得・向上のための研修等			
学生のメンタル面ケアなどを含めた研修を、商社協力の元受講 年2～3回			
4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、 評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係			
(1) 学校関係者評価の基本方針 本校の教育活動及び学校の運営の状況について、自己評価結果に基づき学校関係者評価を行い、学校運営の改善並びに教育 水準の向上に資するための対策を講じる。			
(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応			
ガイドラインの評価項目		学校が設定する評価項目	
(1) 教育理念・目標	(1) 教育理念・目標	(2) 学校運営	(2) 学校運営
(2) 学校運営	(3) 教育活動	(3) 教育活動	(3) 教育活動
(3) 教育活動	(4) 学修成果	(4) 学修成果	(4) 学修成果
(4) 学修成果	(5) 学生支援	(5) 学生支援	(5) 学生支援
(5) 学生支援	(6) 教育環境	(6) 教育環境	(6) 教育環境
(6) 教育環境	(7) 学生の受入れ募集	(7) 学生の受入れ募集	(7) 学生の受入れ募集
(7) 学生の受入れ募集	(8) 財務	(8) 財務	(8) 財務
(8) 財務	(9) 法令等の遵守	(9) 法令等の遵守	(9) 法令等の遵守
(9) 法令等の遵守	(10) 社会貢献・地域貢献	(10) 社会貢献・地域貢献	(10) 社会貢献・地域貢献
(10) 社会貢献・地域貢献	(11) 国際交流	なし	なし
(11) 国際交流			
※(10)及び(11)については任意記載。			
(3) 学校関係者評価結果の活用状況			
幼保一元化に伴い学生のより一層の質的向上が求められる中、教授する側に保育現場で現状起きている問題について可能な 限りの情報提供の必要性を感じ、情報提供として支障の出ない範囲で協力頂いている。問題解決策を学生が学べることで今後 の保育人材不足解消にもつながるのではないかと。			
(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿			
平成31年10月1日現在			
名 前	所 属	任 期	種 別
棧 邦雄	学校法人栗原学園学園長 理事 オホーツク社会福祉専門 学校 校長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(任期2年)	
畠山友子	オホーツク社会福祉専門学校 介護福祉科 学科長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(任期2年)	
田 中 由 佳	オホーツク社会福祉専門学校 こども未来学科 学科長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(任期2年)	
田村智美	オホーツク社会福祉専門学校 歯科衛生士科 学科長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(任期2年)	
中野武房	学校カウンセリング研究会会長 函館大谷短期大学客員教 授	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(任期2年)	有識者
松浦信一	医療法人社団松浦歯科医院院長 北見摂食嚥下ケア研究 会会長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(任期2年)	有識者 実習施設
高橋正明	社会福祉法人恵和福祉会 介護老人保健施設 緑風 事務長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(任期2年)	実習施設
岡田直美	学校法人北見明和学園 認定こども園 北見くるみ幼稚園 園長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(任期2年)	実習施設
近藤 千鶴	㈱ベストミント代表取締役社長 学)栗原学園同窓生	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(任期2年)	同窓生 企業役員
梅原 知佐子	オホーツク社会福祉専門学校 父母協力会	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(任期2年)	PTA
※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等			
(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期 時期 10月1日			
ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()			
URL: http://kurihara.ac.jp ⇒学校法人栗原学園ブログ⇒記事カテゴリ⇒栗原学園本部			

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に沿って、学校案内・募集要項等の印刷物、ホームページ、そして学園広報紙「Net Work」を年2回発行し情報提供を行っている。
毎年、6月の学校関係者評価委員会で確認後、10月1日には公表できるようにしている。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	・学校案内 交通アクセス、
(2)各学科等の教育	・学科案内
(3)教職員	・事業報告書(抜粋)
(4)キャリア教育・実践的職業教育	・就職・進学案内 就職サポート、就職先一覧
(5)様々な教育活動・教育環境	・事業報告書(抜粋)
(6)学生の生活支援	・入学案内 各種サポート制度
(7)学生納付金・修学支援	・入学案内 学費・納入方法、学費分割納入制度
(8)学校の財務	・財務計算に関する書類
(9)学校評価	・自己点検評価報告書
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL: <http://kurihara.ac.jp> ⇒学校法人栗原学園ブログ⇒記事カテゴリ⇒栗原学園本部

授業科目等の概要

(教育社会福祉専門課程介護福祉士科) 令和元年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			介護実習 I II	I. 慣れ親しんだ地域で暮らす高齢者や障がいのある人の事実を知り、そのうえで、そこでの生活を少しでも長く継続していくために利用している、多様な施設や事業所等の機能や役割について知り、個々の生活リズムや個性を理解する観点から、さまざまな生活の場において個別ケアを理解する。また、通所系サービスなどの各在宅サービス、またグループホームや施設を利用する利用者やその家族と人間関係を形成しながら、コミュニケーションの実践、介護技術の確認、多職種協働や関係機関との連携を通じて、チームの一員としての介護福祉士の役割について理解する。	1	200	10			○					○
○				II 個別ケアを行うために、個々の生活リズムや個性を理解し、利用者の課題を明確にするためのアセスメント、介護計画の作成、実施、評価、修正といった介護過程を展開し、他科目で学習した知識や技術を統合して、具体的な介護サービス提供の基本となる実践力を習得する。	2	250					○				
			合計		1 科目				450単位時間(10単位)	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
授業出席率 定期試験 レポートなどで判定	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	3 0 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。